

# 平和について考える日



学校だより

沃野

第 8 号

発行者  
校長 宮良 健



◆ 学年を貫く問い

「あなたは身近な平和のために  
言動できていますか？」

## 6月23日は「慰霊の日」

78年前の6月23日、太平洋戦争末期に県民を巻き込んだ地上戦が終結しました。

沖縄県では、沖縄戦の終結の日を、沖縄戦の戦没者の霊を慰め平和を祈る「慰霊の日」として県の条例で記念日に定められています。

また、糸満市摩文仁（まぶに）の「沖縄平和祈念公園」では、沖縄全戦没者追悼式が執り行われ、県全域でも正午の時報とともに鳴るサイレンにあわせて1分間の黙祷を捧げ、戦没者を追悼する沖縄県民にとっては大切な日となっています。

6月26日(月)本校ではその日の1校時から5校時まで「学びの午前」、6校時を「振り返りの午後」と銘打ち、3つのねらい等を基に教科横断的な内容で特設授業を行いました。

【ねらい】

- ① 沖縄戦をはじめ、太平洋戦争や日本が受けた核被害、各国で起きている紛争や緊張状態等の事例からあらゆる角度で平和の大切さを学ぶ機会とする。
- ② 平和の意味を考え、命の尊さや他人を理解・尊重する精神を日常生活に活かす、お互いを大切にしていこうとする態度を育てる。
- ③ SDGsの視点から、持続可能な社会にしていくためには、個人として何ができるかを考え、実践する態度を育てる。



【方針】

- ① 中学校学習指導要領解説総則編「各教科等における道徳教育を根拠に教科横断的な内容で行う。」

- ② 特設授業の日を設定し、その日の授業を各学年テーマに沿った内容を行う。(各教科の特性や専門性を生かした平和に関する内容にする)

- ③ 1～5校時(学びの午前)で学んだことを、6校時の道徳(振り返りの午後)で振り返る。

- ④ 学年ごとに学習したことをまとめ、平和集会においてポスターセッションで発表する。



### 【日時】

- ① 特設授業の日  
令和5年6月26日(月)  
1～6校時(各教室)

- ② 平和集会(まとめ発表)  
令和5年6月28日(水)  
5校時(ランチルーム)

## ～ 船浦中学校 卓球部 県大会出場へ♪ ～



佐事教育長

前泊町長

この度、本校卓球部が県中体連大会の出場が決まりました！  
この朗報を聞きつけ、竹富町の前泊町長と佐事教育長が卓球部の生徒たちを激励するために本校まで足を運んでくれました。公務多様の中、本校生徒のために御足労いただき、誠にありがとうございました！

# 第43回 西表地区学校陸上競技大会

令和5年7月1日(土)本校グラウンドにて開催されました。

本大会は、1976年、昭和51年に西表島北岸道路、通称「船浦海中道路」が開通し、東部と西部がつながったことで「島の子供たちの交流の場」「子供たちの活躍する場」を設けようという趣旨のもと、1980年、昭和55年に第1回大会が開催されております。

新型コロナの影響もありましたが、今年4年ぶりの開催となった本大会は「43回目」を迎えております。

今日は曇り空で強い日差しもなく、また大きな事故やケガもなく、無事に終了することができました。

開催にあたりまして本校グラウンドを整備していただきました池村 敏光 様ご夫妻、合同会社プラススタッフの皆様へ厚く御礼申し上げます。また、本日、御臨席を賜りました竹富町長 前泊 正人 様、竹富町教育委員会教育長 佐事 安弘 様、教育課長 西原 智 様をはじめ、御来賓の皆様、そして、各学校長、各PTA会長、教職員、保護者、関係各位の皆様へ衷心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。



## 第3回

## ～スピーチ集会～

【ねらい】

- ①書く、発表する、聞くという活動を通して、ものの見方、考え方、感じ方を豊かにする。
- ②自分の思いや考え方を話すことにより、発表力を養う。
- ③発表者の様子や気持ちを考えながら聞くことより、自分を振り返る機会とする。

### サンタクロース

中3 仲里俊汰

皆さんはサンタクロースがなぜ赤いのかというのをご存知でしょうか。そもそもサンタクロースのモデルは、4世紀ごろの「聖ニコラス」という方で、恵まれない子供や貧しい人々を数多く救っていたことから聖人の名が付けられました。

実はその後、最近までは赤い服のサンタさんというイメージは定着していません。赤以外にも青や白、紫などの様々な色のサンタクロースが存在していました。ではなぜ赤い色が定着したのか。それは、コカコーラの戦略と宣伝が世界中のサンタのイメージを赤にしたと言われています。

当時コカコーラは、その色や風味から体に良くない危険な飲み物という噂が飛び交っていたそうです。そのイメージを払拭するために、コカコーラ社は子供や女性をターゲットにしたサンタクロースを使った広告を大々的に打ち出しました。



の赤色が同時に認知され、瞬く間に定着して行きました。

私たちが何気なく普段見ている企業ブランドのロゴや看板にはたくさんの方の戦略が組み込まれていることが多いです。とても勉強になりますので、様々なものを調べてみたいと思います。

### 暇つぶし

中3 國岡玉那

皆さんは日常生活の中で暇だと思えることがありますか。

「ちょっとした待ち時間ができた」「一人で家の中で暇」など生活の中では何かと暇な時間が生まれるが、だと思いませんか。

そこで一人でも楽しめる暇つぶしの方法を3つ紹介します。まず一つ目は、スマホやパソコンでする暇つぶしです。



今の時代は、スマホやパソコン、何でもできる時代です。例えば、アニメや映画を観たり読書やゲームをするなど他にもたくさんする方法があり、暇だと言うことを忘れさせてくれます。また、アニメや映画、読書、ゲームなどは、様々な知識を楽しく学べたり、

ストレスが減ったりするなど、たくさんメリットもあります。

2つ目は、部屋の片付け・清掃で暇つぶしです。普段の清掃で、なかなか手の回らない細かいところの掃除や部屋の模様替え等です。

暇な時こそ取り組んでみると、意外と夢中になり時間が過ぎるのが早く、いい暇つぶしになると思います。

最後3つ目は、体を動かす暇つぶしです。例えば、散歩やランニングをすると、暇つぶしにプラスし、健康も手に入ります。

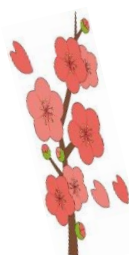
また、普段あまり目を向けない草花に目を向けてみたりしても面白いかもしれません。

このように、一人で楽しめる暇つぶしには、様々な種類があります。

その時々々のシチュエーションや暇になった時間の長さによって、暇つぶしの方法を変えると充実した暇つぶし時間になると思います。

また、ちょっとした新しい事に生み出すことで暇を忘れて物事にのめり込めるはずです。

皆さんも暇だと思ったら、ぜひ試してみてください。





学校評価への御協力をよろしくお願いします

本校グランドデザインをもとに学校評価を行います。詳細なお知らせについては、後日お知らせいたします。先に内容について御確認いただきますようよろしくお願いします。

|    | 評価項目 (A: そう思う B: どちらかと言えば思う C: どちらかと言えばそう思わない D: 思わない E: 分からない) →     | A | B | C | D | E |
|----|-----------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1  | 【最上位目標】 子供は、自分で考え、判断し、言動（発言・行動）している。                                  |   |   |   |   |   |
| 2  | 【豊かな人間性】 子供は、日頃の授業や豊かな体験活動等を通して、互いに認め合いながら協働し自分自身を成長（進化）させている。        |   |   |   |   |   |
| 3  | 【健康・体力】 子供は、日頃から食事・運動・睡眠を意識した生活習慣が出来ている。                              |   |   |   |   |   |
| 4  | 【学校教育の基本 1】 子供は 4 つの実践（①みとめ合います②みんなとします③自分がします④互いを尊重します）を意識して取り組んでいる。 |   |   |   |   |   |
| 5  | 【学校教育の基本 2】 子供は、「挨拶・返事・後始末」を実践している。                                   |   |   |   |   |   |
| 6  | 【学習評価】 通知表やテスト、プリント、ノートなどを通して、子供の学習の達成状況がわかる。                         |   |   |   |   |   |
| 7  | 【発達の支援】 授業等では「個別の学び」や「協働的な学び」があり、「自己決定」の場が設定されている。                    |   |   |   |   |   |
| 8  | 【何を学ぶか】 授業や体験活動等では、「めあて」や「身に付けたい力」が明確に示されている。                         |   |   |   |   |   |
| 9  | 【どのように学ぶか】 子供は、家庭学習の習慣が身についている。                                       |   |   |   |   |   |
| 10 | 【連携・協働 1】 子供は、責任ある社会の一員だと思う。                                          |   |   |   |   |   |
| 11 | 【連携・協働 2】 子供の行動で、国や社会を変えられると思う。                                       |   |   |   |   |   |
| 12 | 【安心・安全】 学校は、安心・安全に過ごせる場所になっている。                                       |   |   |   |   |   |
| 13 | 【地域と共にある学校づくり】 学校は、学校・学級便りやホームページ等から情報を発信して、学校生活の様子を伝えている。            |   |   |   |   |   |

令和 5 年度 竹富町立 船浦中学校 グランドデザイン

1 最上位目標

「自ら考え、判断し、言動できる人」の育成 ～ 自分らしく あなたらしく ～

2 豊かな人間性

- 「特別の教科：道徳」の研究を深め、「考え、議論する」道徳の授業への転換を図る（全職員による道徳の授業実践）
- 豊かな体験的活動を通した自他の関わりを意識させるとともに、挑戦や他者との協働の重要性の実感させる

3 健康・体力

- 日常的な運動習慣の充実と体力の向上
- 一校一運動の実践（生徒会主催の取組）
- 望ましい食習慣を考えるとともに健康的な生活習慣の確立

資質・能力の育成

4 5 何ができるようになるか  
○学校教育の基本

- 4つの実践 ①認め合います ②みんなとします ③自分がします ④互いを尊重します
- 小中連携共通実践 ～挨拶・返事・後始末～

6 何が身に付いたか  
○学校評価を通じた学習指導の改善

- 学びの振り返り（学習評価を通じた学習指導の改善）
- 指導と評価の一体化を踏まえた学習評価の充実を図る
- 自ら考え、判断し、言動している

子供の実態

- すなおで指示されたことはそつなくこなす
- 明るく、先輩後輩の仲が良い

- 自主性、主体性が弱い
- 挨拶・後始末が不十分
- 各種学力調査結果から二極化がみられる

7 子供の発達をどのように支援するか  
○配慮を必要とする子供への指導

- 個の育ち・集団の育ちを支える教育活動の工夫
- 一人一人の実態等を踏まえた個に応じた指導・支援（校内支援体制（態勢）の充実）

めざす子供の姿

- ①自ら考え、判断し、言動できる人
- ②生徒会スローガン「尊重」「協働」「進化」の具現化  
「尊重」…認め合います・互いを尊重します  
「協働」…みんなとします  
「進化」…自分がします

8 何を学ぶか ○教育課程の編成

- 学習指導要領の目標及び内容
- 特例校としての特色ある教育課程編成クロスカリキュラムの推進
- 学ぶ意義を踏まえた体験的活動を通して身に付けたい力の明確化
- キャリア教育の視点を踏まえた望ましい勤労観・職業観の育成
- 「チャレンジビジネス」の推進

9 どのように学ぶか ○教育課程の実態

- （校内研究テーマ）
- 新たな時代を切り拓く「自立した学習者」の育成  
～船浦中学校授業スタンダードの授業実践を通して～
- 「自立した学習者の育成」を踏まえた質的授業改善

10 11 実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- カリキュラムマネジメントの推進 ○質的授業改善 ○校内研修の充実 ○キャリア教育の充実 ○家庭・地域との連携・協働
- 「ふるさと学習」を柱とした特色ある教育活動（炭焼き体験学習、海洋教育、三大行事等）の充実 ○海洋教育（結め海科）の推進
- 「島立ちの教育」スピーチ集会の取組、マンススケジュールタイムの実施

12 安心・安全を守る

- 学校安全体制の構築、毎月の安全点検と危険箇所等の改善
- 避難訓練等の取組を通した危機管理能力の育成
- 認め合い、助け合う絆づくりと安心して過ごせる居場所づくり

13 地域と共にある学校づくり

- 保護者や地域と貸し借りではない協働体制の構築と地域教育資源を活用した特色ある教育活動の推進
- 毎月1回授業参観を実施
- 学校からの情報発信（学校だより、学校HP等）

# 船浦中学校では 午前5時間制 を導入する予定です♪

文部科学省・沖縄県教育委員会・竹富町教育委員会では、各学校の創意あふれる魅力ある学校づくりを推進しております。その取り組みの1つとして「午前5時間制」があります。これは2002年に東京都目黒区立の小学校から始まり、現在では全国の小・中学校で実施する学校が増えております。

「午前5時間制」は、一単位時間を45分間（小学校は40分間）とし、午前中に集中して学習することを通して学力の定着を図り、午後にゆとりの時間を生み出し、各学校の実態に合わせて活用することの特徴としています。また、教職員の「働き方改革」にもつながる取り組みの1つでもあります。そこで、本校においても創意ある取組みの1つとして「午前5時間制」を導入していきたいと考えております。

つきましては、生徒・保護者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願い致します。

船浦中学校 校長 宮良 健

## 午前5時間制の魅力ある学校づくり

【参考：目黒区教育委員会リーフレット】

学びの午前

活動の午後

|                  |             |
|------------------|-------------|
| 登校・朝ホ<br>読書・自学   | 7:30-8:00   |
| 朝の会              | 8:00-8:10   |
| 1校時              | 8:15-9:00   |
| 2校時              | 9:10-9:55   |
| 3校時              | 10:05-10:50 |
| 4校時              | 11:00-11:45 |
| 5校時              | 11:55-12:40 |
| 給食               | 12:40-13:25 |
| 昼休み              | 13:25-13:50 |
| 6校時              | 13:50-14:35 |
| 教科等横断的<br>な学習の時間 | 14:45-15:15 |
| 清掃・帰りの会          | 15:15-15:35 |
| 下校・部活            | 15:35-18:00 |

### ●生活習慣の確立

「午前5時間制」は、早寝・早起き・朝ご飯の習慣化の向上が確認されています。給食の時間が少し遅くなることを考慮し、生徒には朝ご飯をしっかりと食べるよう助言します。

### ●授業時数と授業コマ数の確保

午前中に5単位時間分の授業を行うため授業時数の確保につながります。  
週時程を変更することなく、授業時数増の学習指導要領に対応できます。

### 集中力の高い午前中に行う 5 単位時間の授業

### ●長時間学習の活用

6校時と教科横断の時間を続けた長時間学習を活用し、実験を行って結果を考察・発表するなど、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業を行います。思考力・判断力・表現力等の育成に効果的です。

### ●短時間学習の活用

教科横断的な活動（学びの振り返り）として、「わからなかったこと」を「わかるようにする」ための時間として設定します。

### 学習の質を高める「長時間学習」

### 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る「短時間学習」

\*清掃活動 … 月・水・金（※ランチルームは毎日清掃します♪）

### 生み出した放課後の「ゆとり時間」

生徒

#### ①個別指導の充実

授業で分からなかったところや苦手な学習を先生に個別に教えてもらったり、学校生活等について先生と話をすることもできます。

#### ②自由時間の拡大

学校行事等が多い中、生徒たちに自由な時間も確保することができます。

#### ③生活リズムの確立

年間を通して18:00に下校時間を設定することで生活リズムも整います。

教員

#### ●教材研究等の充実

・教員同士が話し合い、生徒にとって楽しい・分かる・参加する授業等の工夫もできます。

・ワークライフバランスの意識が高まり、プライベートも充実します。

・教職員における「働き方改革」の推進を図ることができます。

最上位目標「自ら考え、判断し、言動できる人」の育成